

# 令和7年度 酒田市松山文化伝承館運営委員会

## 次 第

日時 令和8年2月20日（金）

午前10時～

場所 酒田市松山文化伝承館会議室

1 開 会

2 文化財主幹あいさつ

3 協 議

（1）令和7年度事業実施報告について

（2）令和8年度企画展示（案）について

4 そ の 他

5 閉 会

## 資料目次

I. 令和7年度 事業運営状況	1
II. 令和7年度 企画展示別入館者数	3
III. 入館者数の推移 令和7年度4月～1月	4
IV. 入館者数の推移(年度別)(グラフ)	5
V. 令和7年度 事業を振り返って	6
VI. 令和8年度 企画展示(案)	12
VII. 運営委員会委員名簿	15

## I. 令和7年度 事業運営状況

### 1. 運営の状況について

#### ① 館藏品などの展示事業

##### ア) 企画展示【新館】

実施回数 6回

- 1) 「佐藤芳涼 創作和紙人形」展 4/4～6/1 51日間  
茂木玲子写真展 4/5～5/6  
茂木玲子ギャラリートーク 4/20 15名参加  
無料開放 5/1  
ワークショップ RIPPLEs 5/1-10名 5/11-4名 計14名参加
- 2) 「ブナに抱かれし山々 斎藤政広写真」展 6/6～8/3 51日間  
ギャラリートーク 斎藤政広氏  
6/8-21名 6/15-21名 6/22-22名 6/29-25名 7/13-26名  
7/20-23名 7/27-31名 8/3-35名 全8回 計204名参加  
あったかコンサート 出演者6名 182名参加
- 3) 「山形鋳物作品 庄司逸雄」展 8/8～10/5 51日間  
ギャラリートーク 庄司逸雄氏 8/30 35名参加  
松山城址大手門特別ツアー 伝承館調査員 9/27 8名参加  
ワークショップ おりがね工房  
9/13-2名 9/14-4名 9/15-3名 計9名参加
- 4) 「さとうまりこ と 齋藤龍太郎作品」展 10/10～12/7 51日間  
ギャラリートーク 10/25-23名 11/15-24名 計47名参加  
すがたり 語りやごんべえ 10/25-27名 参加
- 5) 「時を駆ける父子絵師」展 12/12～2/8 46日間  
ワークショップ 1/10-4名 1/17-8名 1/24-4名 計16名参加
- 6) 「松山のお雛さま」展 2/13～4/5 40日間  
ギャラリートーク 2/23 予定  
ひな茶会 3/1 予定  
ワークショップ 3/22 予定

入館者総数 3,966名(4月1日～1月31日まで)

上記6回の企画展の詳細は別紙参照

イ) 常設展示【本館】

- ・「松山の歴史と文化～藩政時代の松山～」をテーマに武具甲冑や藩主の書、藩校資料、戊辰戦争資料等の展示
- ・大手門の鯨(本物)の展示
- ・松山の偉人達-阿部次郎・川上瀧彌・原のぶ子・石渡幸之輔等4名の偉業の紹介

ウ) 常設展示【真下慶治記念室】

- ・「最上川Ⅰ」と画家とその周辺 -スケッチの時々- 4/4～8/3
- ・「最上川Ⅱ」と画家とその周辺 -展覧会の時々- 8/8～10/5
- ・「最上川Ⅲ」と画家とその周辺 -旅の思い出- 10/10～12/7
- ・「最上川Ⅳ」と画家とその周辺 -思い出の時々- 12/12～4/5

② 施設活用事業

ア) 体験事業

甲冑着付体験	5/5(月)-5名	5/6(火)-8名	計	13名
8月6日(水)	酒田市教育研究所社会科研究部			15名
11月13日(木)	酒田市南平田小学校スクールプログラム			38名

イ) 第22回ホットほっとコンサート

11月24日(月)祝日 139名

③ 関係団体等との連携活動

ア) まつやま大手門クラフトフェア

9/20(土)-288名 9/21(日)-596名 トイレのみ

イ) 松山文化伝承館 無料開館

5/1(水)-293名 11/3(金)-179名

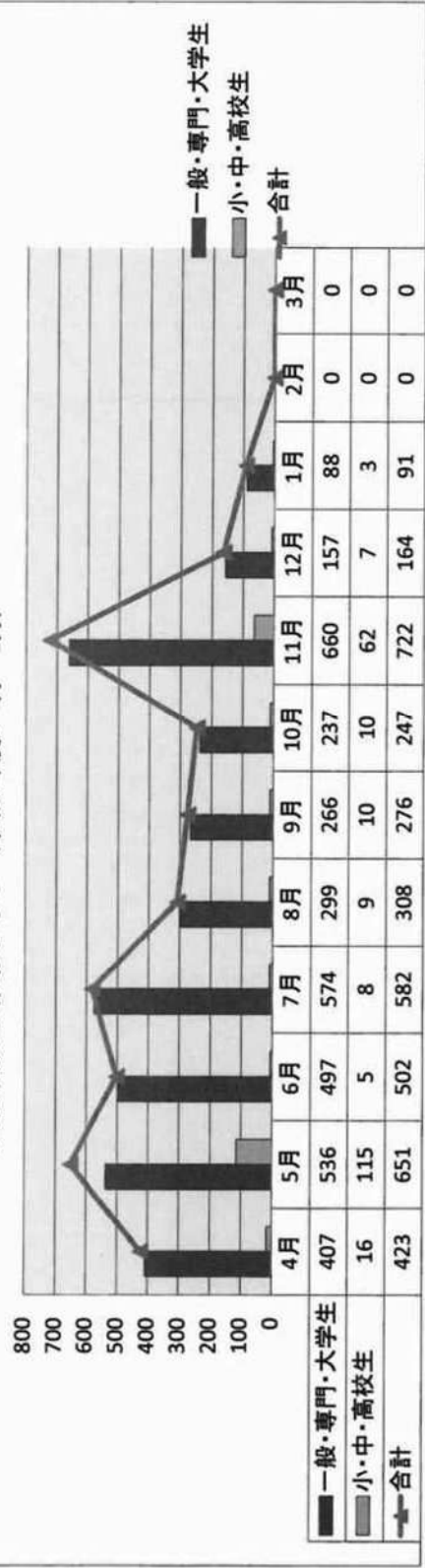
## Ⅱ. 令和7年度 企画展示別 入館者数

期 間	月別 開館日数	展 示 名	入 館 者		
			総 数	一般・専学・大学 小中高校生 (幼児舎)	月 毎
4月4日(金) ↓ 6月1日(日)	4月→23日 5月→27日 6月→ 1日 計 51日	【佐藤芳涼 創作和紙人形】展 ご来館なされたお客様からご要望の多かった佐藤芳涼氏の和紙人形の展示である。当館収蔵の芳涼作品を全て展示したのは13年前の平成23年が最後であり、今一度和紙のあたたかみと華やかさと作家の豊かな発想のつまった作品群をご覧いただく機会となった。	1,098人	一般・専・大学 965人 小中高校生 133人	4月 423人 5月 651人 6月 24人 計 1098人
6月6日(金) ↓ 8月3日(日)	6月→21日 7月→27日 8月→ 3日 計 51日	【ブナに抱かれし山々 斎藤政広写真】展 酒田市で長年、山や森林の生命力溢れる写真を撮影してきた斎藤政広氏の写真展である。この展示を通して自然の美しさ・壮大さを観る人に感じてもらうことを目的とする。又、昨年に目標の全32巻達成を成し遂げた『ブナの声』シリーズの集大成の展示という側面もある。	1,162人	一般・専・大学 1,151人 小中高校生 11人	6月 478人 7月 582人 8月 102人 計 1162人
8月8日(金) ↓ 10月5日(日)	8月→21日 9月→25日 10月→ 5日 計 51日	【山形鑄物 庄司逸雄作品】展 現在松山城大手門に載っている三代目鯨を手掛けた、山形鑄物師 庄司逸雄氏の作品展である。山形鑄物の職人作品展を行い、山形鑄物の歴史や彼らの手業を知ってもらうとともに、松山の大手門を知ってもらうという相乗効果を狙った企画展となった。	517人	一般・専・大学 499人 小中高校生 18人	8月 206人 9月 276人 10月 35人 計 517人
10月10日(金) ↓ 12月7日(日)	10月→19日 11月→26日 12月→ 6日 計 51日	【さいとうまりこ と 斎藤龍太郎作品】展 鶴岡市在住の絵本作家さとうまりこ氏・斎藤リュウターロー氏の作品展である。現在さとう氏が挑戦している1ページ絵本57作品とともに、絵本の原画を展示する。又、お気に入りの作品に投票するイベントを開催し作品と向き合いながら鑑賞する企画となった。	1,012人	一般・専・大学 935人 小中高校生 77人	10月 212人 11月 722人 12月 78人 計 1012人
12月12日(金) ↓ 令和8年 2月8日(日)	12月→15日 1月→24日 2月→ 7日 計 46日	【時代を駆ける父子絵師】展 松山の絵師、旭峰氏・廬山氏・孝造氏の父子三人展である。子孫である富樫幸彌氏よりご寄贈いただいた作品や、松山各所に残る絵馬・掛軸等を展示する。江戸から明治、大正そして昭和と時代を駆けた父子絵師と、松山における近代の絵画を知ってもらうことを目的とする。	220人	一般・専・大学 217人 小中高校生 3人	12月 86人 1月 91人 2月 43人 計 220人
2月13日(金) ↓ 3月31日(火) 4月 5日(日)	2月→14日 3月→26日 4月→ 5日 計 45日	【松山のお雛様と酒田の鶴渡川原人形】展 松山に伝わるお雛様と、今年度本間光枝氏より新たに寄贈頂いた土人形298点の内、酒田の代表的な土人形である鶴渡川原人形を中心とした展示を行うことにより「桃の節句・お雛様」の本質へ立ち返る機会と、土地に根差した民芸品に再度目を向ける機会の創出を目的とする。		一般・専・大学 人 小中高校生 人	2月 人 3月 人 計 人
合 計	295日	(4/1~2/8 250日間)	4,009人	一般人 小中高校生 人	集計 4/1~2/8 まで

### Ⅲ. 入館者数の推移 (令和7年度/4月～1月)

区分	一般・専門学生・大学生										小・中・高校生(幼児含)							開館日数	一日平均
	個人	団体	身障者	旅行者取扱	50%減免	100%減免	招待券	小計	個人	団体	身障者	旅行者取扱	50%減免	100%減免	小計	合計			
4月	261	0	1	0	1	0	144	0	407	1	0	0	0	0	16	423	23	18.4	
5月	271	0	4	0	0	190	69	2	536	2	0	0	0	0	113	651	27	24.1	
6月	345	2	8	0	5	0	137	0	497	1	0	0	0	4	5	502	22	22.8	
7月	435	0	4	0	3	0	131	1	574	3	0	0	0	5	8	582	27	21.6	
8月	204	0	0	0	0	15	79	1	299	2	0	0	0	7	9	308	24	12.8	
9月	161	0	1	0	0	103	79	1	266	3	0	0	0	7	10	276	25	11.0	
10月	156	0	0	0	0	79	2	237	2	0	0	0	0	7	10	247	24	10.3	
11月	287	28	2	0	1	210	123	9	660	2	0	0	0	60	62	722	26	27.8	
12月	93	0	0	0	0	64	0	157	0	0	0	0	0	7	164	21	7.8		
1月	44	0	0	0	0	44	0	88	0	1	0	0	0	2	3	91	24	3.8	
2月								0	0						0	0	21	-	
3月								0	0						0	0	26	-	
計	2,257	30	20	0	10	415	973	16	3,721	18	0	0	0	0	227	3,966	290	13.7	

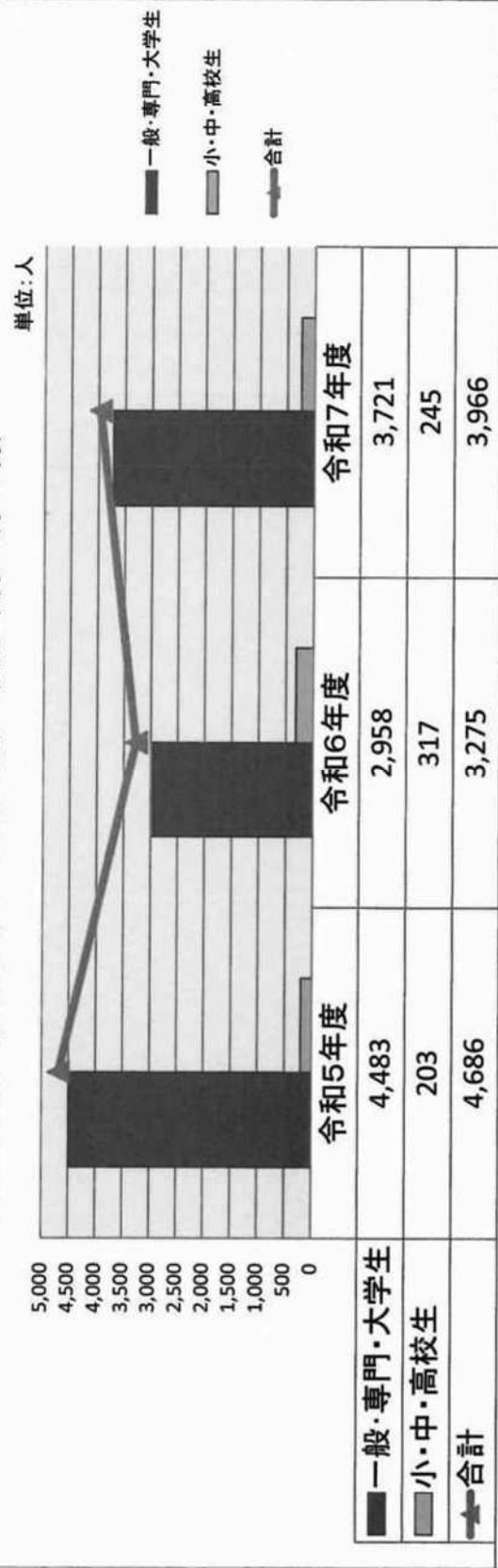
入館者数の推移グラフ (令和7年度/4月～1月)



### IV. 入館者数の推移 (令和5～7年度/4月～1月)

区分	一般・専門学生・大学生										小・中・高校生(幼児含)						開館日数	一日平均	
	個人	団体	身障者	旅行者取扱	50%減免	100%減免	会員	招待券	小計	個人	団体	身障者	旅行者取扱	50%減免	100%減免	小計			
令和5年度	2,539	180	57	0	31	384	1,260	32	4,483	58	3	1	0	0	141	203	4,686	242	19.4
令和6年度	1,656	231	22	0	6	363	661	19	2,958	17	0	0	0	0	300	317	3,275	238	13.8
令和7年度	2,257	30	20	0	10	415	973	16	3,721	43	0	0	0	0	202	245	3,966	243	16.3

### 入館者数の推移グラフ (令和5年度～令和7年度/4月～1月)



## V. 令和7年度 事業を振り返って

令和7年度は、山形県特に庄内地方は穏やかに過ぎたように思われます。夏の猛暑は相変わらずでしたが、気候変化の予兆を感じさせる程度の暑さだと捉えていました。

ただ、秋から初冬にかけて野生熊の人間の生活圏に入り込む事件が頻繁に起きたことは驚きました。山中のブナやナラ・クリなどの不作により、食料を求めて民家近くの柿の実やスイカまで食い荒らす様子を映像で見、それらの熊を害獣として駆除することが当たり前のことと報道される実情をどう判断したらよいのか迷いました。中には丸々と太った成獣もいて、山は餌不足と報じられたことすら疑ってしまう有様でした。

しかし、このように日本中で大量の熊が駆除されたことで今後生態系にどう影響を及ぼすのかの議論は少なかったように思われます。

さて、私たちの「松山文化伝承館」の話題に戻します。コロナ禍が過ぎ、従来通りの文化財展示、各種イベントの開催など、本来の事業方針に則った活動になりましたが、飛躍的に入館者が増えては来ませんでした。大型バスやマイクロバスを使った旅行者や各自治会の団体の方々の来客は少なくなりました。

それでも、いろいろなニーズに応えるような企画で、幅広い年齢層や趣味の方々が来館してもらえるようにと頑張ってきました。

### <企画展示室>

令和7年度は、6つの企画展示を行い、それに合わせた「ギャラリートーク」や「ワークショップ」を実施しました。

#### ① 「佐藤芳涼さん 創作和紙人形展」 4月4日～6月1日

2002年、佐藤芳涼さんがこの「松山文化伝承館」で「和紙人形展」を開催した後、彼女のほとんどの作品を当館に寄贈してくれました。今回それらの作品をもう一度展示することにしました。

彼女は、酒田市で創作活動を続けて、和紙の持つ「強さ」「美しさ」「柔らかさ」「温かさ」等の特徴を人形に託してきました。

今回、「源氏物語」「能楽の演目」「西馬音内盆踊り」を展示しました。

「源氏物語」からは「元服式の様子」

「曲水の宴」「六条院の春秋秋」。

「能楽」からは「各演目の主役の方々」。「西馬音内盆踊り」は「12名の舞姫たち」等々を展示しました。



② 「ブナに抱かれし山々 斎藤政広写真展」 6月6日～8月3日



ブナの樹々に包まれた鳥海山など東北の山々に惹かれ、四季折々の風景を撮り続けてきた写真家の斎藤政広氏。残雪の残る頃、爽やかな春の風を感じながら歩いた山々、エゾゼミの啼き声を聞き、モリアオガエルの木の枝にぶら下がった卵塊を見つけたり、カタクリの花に集うギフチョウの可憐なすがたに歓喜したり……。彼の心温まる世界を味わいました。



この期間中、8回にわたる「ギャラリートーク」は、彼の人柄と自然の素晴らしさを余すことなく伝えてくれました。

「あったかコンサート」は、斎藤さんと彼を取り巻く仲間の素敵な演奏会になりました。



③ 「庄司逸雄 山形鑄物作品展」 8月8日～10月5日

今を遡ること244年前、松山藩三代藩主酒井忠休公の時世、この松山に大手門を含む築城が許可されました。その折に山形鑄物師の庄司清吉氏が鯨を制作しました。そして時代が過ぎ、1992年「松山城大手門再建200年記念事業」として、新しい鯨を鑄造することになりました。その鯨を鑄造した人こそ江戸時代の庄司清吉氏の子孫となる「佐野屋14代庄司逸雄」氏なのです。その彼の作品を展示しました。



- 第1章 山形鑄物の歴史
- 第2章 鑄物の作業工程
- 第3章 松山とのご縁
- 第4章 庄司逸雄 作品



④ 「ようこそ 1ページ絵本の世界へ」(さとうまりこと齋藤リュウタローー作品展)  
10月10日～12月7日



よりよい絵本を生み出すために、「1ページ絵本」を制作するご夫婦の世界です。1枚の絵から、一人一人の物語を編んでゆく。それも可愛い動物たちが楽しそうにしている絵を見ながらです。また、それほど遠くない昔の私たちの生活の絵等からも子どもたちだけ

でなく、大人の方々も感動する企画でした。その絵に添えられた宝石のような言葉にも温かさが感じられました。

今まで、このような施設(資料館とか美術館とか)に興味を示さなかったであろう年代層の方々も多く来館してくれました。



⑤ 「時代を駆ける父子絵師」 <松山の旭峰・廬山・孝造>  
12月12日～2月8日

この松山地区に、江戸時代から昭和にかけて活躍した父子の絵師がいました。

旭峰(富樫平右衛門) <1847～1914>

廬山(富樫平次郎) <明治時代>

富樫 孝造 <1887～1952>

今回、彼らの数々の作品を展示し、松山地区の優れた絵師を紹介しました。

**旭峰** 松山地区新町で染物屋の家に生まれます。

絵師として絵馬・塞道幕、松嶺焼(花瓶)の絵付けなどを手掛けました。

**廬山** 旭峰の長男。かなり高齢になってから絵を描き、神社への奉納絵馬など多くの書画が残っています。

**孝造** 写真屋を営みつつ、油彩画の手法や写真の技法を取り入れた肖像画を得意としました。





他に「心光寺」所有の「十六羅漢図」の掛け軸も展示しました。



⑥ 「松山のお雛様」と「鶺鴒渡川原人形」

2月13日～3月31日



★江戸・明治・昭和等の雛人形を中心とした展示です。



★「鶺鴒渡川原人形」の展示はとても貴重なものです。



## ★その他の企画

### ◎「あったかコンサート」

7月6日（日）

斎藤政広さんのトークも加え、電子ピアノ・オカリナ・歌等の演奏でとってもやさしいコンサートになりました、

また、お出でいただいたお客様も予定数をはるかにこえました。



### ◎「ほっとホットコンサート」

11月24日（月）

今年で22回を迎えたコンサートです。昭和34年11月深夜、松嶺小学校で火事が発生し、その小学校の音楽室にあった「ドイツ製ピアノ」が奇跡的に焼け残り、その後修復再生されました。そのピアノを使っの伴奏や素敵な歌声を紅葉の美しい季節に聴かせていただきました。



## ★その他の展示室

### <常設展示室>

「松山の歴史と文化～藩政時代」をテーマに、甲冑・鯨・藩主の絵画や掛け軸」また、松山藩の絵図面などを展示。  
松山藩の歴史を知る展示室です。

### <小展示室>

「松山の偉人たち」  
阿部次郎・川上瀧弥・原のぶ子・石渡幸之輔らの業績を展示。

### <真下慶治記念室>

年5回ほど展示替えをしながら、最上川を中心とする洋画の展示。

## VI. 令和8年度 企画展示（案）

<★ 企画展示・展示内容及びタイトル等については変更もあります>

### ◎「二輪草のある風景～山形で描く伊藤みさき日本画作品展」

4月10日～6月7日

山形市で制作を続けている日本画家。

東京都生まれ、東北芸術工大で日本画を学ぶ。

\*山形県総合美術展（2021年）入選。

\*東京や山形で発表会を実施する新進気鋭の作家。

\*その柔らかい筆タッチに作家の優しさがにじみ出てきます。



### ◎「優雅なる筆～佐藤公紀美人画展」

6月12日～7月26日

大きな絵灯籠に描かれた佐藤公紀さんの美人画は、酒田市松山地区の夏の夜を彩る風物詩でした。大正9年松山で生まれ、大正15年、美人画の大家であった「伊東深水」氏に師事し美人画の道を歩んできました。

当館で保管しております多くの作品を中心に展示します。



### ◎「優美なる技～佐藤洋宜手描き友禅作品展」

7月31日～9月6日

引き続き、佐藤公紀氏の御子息の洋宜（ひろよし）氏の「江戸手描き友禅染作品展」です。

「手描き友禅」は江戸時代に生まれた染色技法のひとつで、江戸の華やかな文化に生まれ、洗練されました。彼の作品は更に現代風の都会的なセンスの文様と配色で高い評価を得ています。

尚、絵灯籠の展示や友禅染のワークショップも計画しております。



◎「カンベガラス&楓舎木工の作品展」

9月11日～11月8日



大内学氏のガラス作品  
(カンベガラス)

大石田町に在住し、吹きガラス技法で、生活の中になじむ器を制作しております。

とても可愛らしい作品が並びます。



尾花沢市にある木工「楓舎」からの出品です。

自然の木肌を生かした椅子やテーブル、食器等を制作しています。ぬくもりのある雑木を素材にした

森の贈り物です。

エコで丈夫で、飽きの来ない物づくりを目指しています。



◎「お殿様の書画 庄内藩と松山藩」

11月13日～2月7日

松山藩主や庄内藩主たちの掛け軸や書画・書状等の展示をします。

他にも、珍しい書状の数々です。

江戸時代の藩主や藩士の息遣いが聞こえてきそうな品々です。



◎「松山のおひなさま と 押し花アート作品」

2月12日～4月4日

松山地域にある江戸時代・明治・昭和にひな祭りを飾ったお雛さまたちの展示です。



また、ロビーには桐澤須磨子さんの「押し花アート」作品の数々も展示します。



② 常設展示（本館）

\* 「松山の歴史と文化～藩政時代～」をテーマ！

二代目鯨の展示。

武具甲冑や資料展示

戊辰戦争の記録（松森胤保氏が描いた秋田戦争の絵）

松山藩の城周辺の絵図

歴代藩主の書や絵（掛け軸）

③ 小展示室

\* 「松山の偉人たち」

松山・山寺の阿部記念館にあった阿部次郎氏の貴重な資料を整理しながら展示。

明治期北海道の大学で学び、洞爺湖の球形藻を「マリモ」と命名した川上瀧弥氏。

若くして洋服のデザイナーとしてフランスで学び、東京では公家のお嬢様等のドレスを作成し、又多くの若手を育て上げた原のぶ子氏の偉業の紹介。

④ 真下慶治記念室

\* 最上川の油絵を中心に、年4回ほど模様替えしながら展示

⑤ ロビー等での施設活用事業

\* ワークショップ・・・小企画を進める中で実施。（年数回）

Ex. からむし工房 佐藤洋宜氏 桐澤須磨子氏

\* ギャラリートーク・・・企画展示の内容に花を添えるトークショー（年数回）

\* 「甲冑着付け体験」や「甲冑着付け講習」等。

\* オカリナコンサート（6月）

\* ホットほっとコンサート（11月）・・・声楽家・関矢順先生と里仁館コーラスの方々によるコンサート。

\* 茶会・・・松山茶道愛好会の協力を得て、雑茶会等数回の茶会を企画します。

## VII. 運営委員会委員名簿

氏 名	推 薦 団 体 等
佐 藤 純 子	生涯学習施設「里仁館」
小野寺 裕 美	酒田市小学校長会
富 樫 春 夫	学識経験者
加 藤 明 子	学識経験者
久 松 理 子	学識経験者

### 事 務 局

川 島 崇 史	酒田市企画部 文化政策課 文化財主幹
池 田 邦 臣	酒田市企画部 文化政策課 課長補佐 兼 係長
佐 藤 志 保	酒田市企画部 文化政策課 主任
榎 本 和 介	酒田市松山文化伝承館 館長
高 橋 真 夕	酒田市松山文化伝承館 調査員
小 沢 玲 子	酒田市松山文化伝承館 調査員